

第65回 経営協議会 議事要旨

日 時 平成24年9月27日(木) 13:30～15:15
場 所 事務局4階第3会議室

- 議題1．経営協議会における学長候補適任者の推薦について(資料1)
議題2．組織評価報告書について(資料2)
議題3．先進医用ミニブタクラウン系存続の緊急事業について(資料3)
報告事項1．平成25年度概算要求(対財務省)について(資料4)
報告事項2．東日本大震災に対する鹿児島大学の支援状況について(H24.9.26現在)(資料5)
報告事項3．記者発表事項等について(資料6)
報告事項4．本学教育研究評議会での審議事項等について(資料7)
その他
1．歯学部卒業判定誤り事案に係る和解について

[出席委員] 13名

吉田学長
(理事) 島、下川、阿部、前田、渡辺
(学内委員) 熊本
(学外有識者) 石窪、中村、永田、林、福田、萬田

[欠席委員] 1名

(学外有識者) 山田

[オブザーバー]

坂東監事、押越監事
(副学長) 萩野、安部、上谷、友清
(学長補佐) 小栗、森、有倉、新森、重廣、三仲、藤重、仙波

[事務局]

(部長) 森山、油原、諏訪原、須崎、飯田
(課長・室長) 山崎、川西、伊藤、上國料、通山、仮屋、稲葉、西、平原、福永、松野下、黒原、折田、松田、能勢

議題1．経営協議会における学長候補適任者の推薦について(資料1)

学長から、本件審議は、委員及び監事と総務部関係者のみで行う旨説明があり、最後に審議された。

学長から、経営協議会における学長候補適任者の推薦について諮られ、資料に基づき説明があった後、6月15日付けで経営協議会各委員宛に「学長候補者の推薦について」の依頼の通知を行ったところ、推薦締切日の8月31日までに各委員からの推薦は無かったことの説明があり、審議の結果、経営協議会における学長候補適任者の推薦は無い旨資料のとおり回答することについて了承された。

議題 2 . 組織評価報告書について (資料 2)

学長から、平成 23 年度鹿児島大学組織評価報告書 (案) について諮られ、下川理事から「国立大学法人鹿児島大学における部局等の自己評価の実施要項」に基づき、平成 23 年度鹿児島大学組織評価報告書 (案) の取りまとめについて資料に基づき説明があった後、種々意見交換が行われ、学外委員からは主に次のような意見が出された。

- ・ 評価報告書公表は報告書の内容の精査に時間を要するよりもスピーディーに結果を公表しブラッシュアップを図ることが重要である。
- ・ 組織評価書の自己評価結果は 3 段階となっているのに対し、国立大学法人鹿児島大学における部局等の自己評価の実施要項第 3 条に規定されている評価水準は 4 段階となっている。
- ・ 組織評価書の自己評価結果のほとんどが、「良好である」か「おおむね良好である」との自己評価結果であるが、第 2 期中期目標・中期計画期間の 6 年間の途中の段階では、より厳しい評価とした方がよいのでは。

学長から、御意見については今後の改善に活かしていきたい旨発言があり、平成 23 年度鹿児島大学組織評価報告書については、原案どおり、了承された。

議題 3 . 先進医用ミニブタクラウン系存続の緊急事業について (資料 3)

学長から、先進医用ミニブタクラウン系存続の緊急事業について諮られ、前田理事から (株) ジャパンファームがクラウン系ミニブタの繁殖・販売事業から撤退し平成 24 年 4 月から繁殖を停止したことに伴うクラウン系ミニブタ廃絶の危機を打開し、鹿児島大学により開発された我が国唯一の組織適合性確立大動物であるクラウン系ミニブタの維持と特色ある実験を遂行可能にするための事業について資料に基づき説明があった後、種々意見交換が行われ、学外委員からは概ね次のような意見が出された。

- ・ 母豚・種豚が死んだ場合の補充と所有者はどうなるのか。
- ・ 経営的リスクの回避の方策はどのように考えているのか。
- ・ 銀行からの借り入れの場合の個人保証はどうするのか。
- ・ 大学のサポートはどこまで出来るのか。
- ・ 上手く軌道に乗った場合は、ロイヤリティーが積み上がってくると大学としてどのようなサポートを行うのか。
- ・ 生まれた子豚は、大学と NPO 法人のどちらの保有になるのか。
- ・ NPO 法人 (組織) についての理解が必ずしも十分でないように見受けられる。
- ・ NPO 法人と大学の関係性があいまいな感じがする。

学長から、NPO 法人の組織・運営、大学との関係性については、今後も引き続き十分に詰めていく必要がある旨説明があり、審議の結果、先進医用ミニブタクラウン系存続の緊急事業について、クラウン系ミニブタ種々・母豚 50 頭 (20 万円 × 50 頭 = 1 千万円) を本学が購入すること、及びクラウン系ミニブタ繁殖・販売のために設立される NPO 法人に対し本学から種豚・母豚を貸与することなどについて、了承された。

なお、学長から、本件については、今後も必要に応じて本会議で報告を行いたい旨説明があった。

報告事項 1 . 平成 25 年度概算要求 (対財務省) について (資料 4)

渡辺理事から、文部科学省から財務省に提出された平成 25 年度国立大学法人運営費交付金概算要求について、文部科学省より連絡があった旨資料に基づき報告があった。

報告事項 2 . 東日本大震災に対する鹿児島大学の支援状況について (資料 5)

学長から、9月26日現在の東日本大震災に対する鹿児島大学の支援状況について、資料に基づき説明があった後、教育担当理事から補足説明があった。

報告事項 3 . 記者発表事項等について (資料 6)

学長から、本学の最近の主な記者発表事項等の記事を添付している旨説明があった。

報告事項 4 . 本学教育研究評議会での審議事項等について (資料 7)

学長から、本学での動向等を把握して頂くために、教育研究評議会での審議事項等を添付している旨の報告があった。

学長から、席上に「女性研究者研究活動支援事業」の平成23年度事業報告書の冊子を配付している旨説明があり、お持ち帰りのうえお目通し願いたい旨発言があった。

また、学外委員から、市電の車内で見かける鹿児島大学の中吊り広告について、紙面にあまりにも各種イベントを盛り込みすぎて分かりにくい感じを受けるので、もう少しすっきり分かりやすい紙面にした方がよいのではないかとの意見が出された。

その他

1 . 歯学部卒業判定誤り事案に係る和解について (口頭)

学長から、本件については、経営協議会委員、監事及び関係部署のみで行う旨の発言があり、当該関係職員以外の者が退席後、島理事から、歯学部卒業判定誤り事案に係る和解について口頭で説明があった。

次回の経営協議会は、平成24年11月22日(木)13:30から開催することとなった。